

1 4 埼玉県衛生研究所報投稿規定（平成 23 年 5 月 17 日改訂）

1 所報の内容

所報は、埼玉県衛生研究所で行った調査研究、試験検査、研修指導及び公衆衛生情報等の収集・解析・提供業務に関する内容を中心に、概ね次の項目を年度終了後に掲載し、発行する。

- (1) 沿革
- (2) 組織及び事務分掌
- (3) 業務報告
- (4) 研修業務
- (5) 総説：各種論文に基づく総説であり、投稿により掲載する。
- (6) 衛生研究所研究費事業報告：所費による研究事業について、前年度の研究結果を掲載する。
- (7) 調査研究：印刷物として未発表であり、新知見を含む調査研究に関するものとし、投稿により掲載する。
- (8) 資料：試験検査、調査等の成果をまとめたものであり、投稿により掲載する。
- (9) 紹介：当該年度の他誌発表論文及び学会等発表の内容紹介。
- (10) えいけんプランについて
- (11) 投稿規定

2 総説、調査研究及び資料の形式

総説、調査研究、資料の原稿には、表題、著者名をつけ、あとに表題及び著者名の英文をつける。それぞれを原稿の真中に、上下 1 行あけて記載する。

調査研究の形式は、序論（緒言、はじめに等）、方法（実験方法、調査方法、材料及び方法等）、結果（成績等）、考察、要約（結語、まとめ等）、謝辞、文献の順に記載することを原則とする。資料はこれに準ずるが、すべてを満たさなくても良い。

投稿は衛生研究所職員に限る。なお、衛生研究所職員以外の共著者がある場合には、*印を用いて欄外に記載する。

例 1：* ○○大学

例 2：* 1 ○○研究所 * 2 ○○大学

3 衛生研究所研究費事業報告の形式

衛生研究所研究費事業報告の原稿には、「平成○○年度・衛生研究所研究費事業報告」、表題、「計画年度：平成○○年度～平成○○年度」、研究代表者名及び共同研究者名をつける。「平成○○年度・衛生研究所研究費事業報告」及び表題は原稿の真中に、研究代表者名及び共同研究者名は、左詰で記載する。

形式は、目的、成果概要、自己評価、展望、公表等の順に記載することを原則とする。

4 紹介の形式

紹介は、題名、1 行あけて氏名、さらに 1 行あけて要旨の順に記載し、1 行あけて、雑誌等発表のものは発表雑誌名、講演等は、発表学会名を記述する。

(1) 雑誌等発表の場合

雑誌名：巻数(号数)、引用ページ(発行年)

- 1) 日本公衆衛生雑誌：46(6)、435-445 (1999)

(2) 口演等の場合

発表学会名：開催地（発表年）

- 1) 日本薬学会第 119 年会：京都（1999）

なお、衛生研究所職員以外の共著者あるいは共同発表者がある場合には、*印を用いて欄外に記載する（2 を参照のこと）。

また、欧文雑誌名はイタリック体で、開催地は都道府県名で記載する。

5 原稿の書き方

(1) 研究事業報告、総説、調査研究及び資料以外の場合

1) 原稿は、ワープロソフト（MS Word）を用い、A4 判縦用紙（左右に 25 mm の余白を設ける。）に 12 ポイントで、1 行 26 字、25 行で横書き印字する。枚数は自由とする。ただし、紹介については 1 題につき、概ね用紙 1 枚程度とする。なお、英文原稿は、これによらない。

また、図表等は、必要に応じて MS Excel を用いる。

2) 項目に数字をつける場合は、次の順序に従う。

1, 2, …, (1), (2), …, 1), 2), …

3) 数字は算用数字（アラビア数字）を用い、文章は原則として現代かなづかいで、常用漢字を使用する。用字用語等については原則として埼玉県発行の「文書事務の手引き」による。句読点は「,」,「.」を用い、「、」,「。」は用いない。

4) イタリック体になる字には、実線のアンダーラインをつける。数量の単位符号は、原則として国際単位系（SI 単位）を用いる（JIS Z 8203 参照）。字体に特別の希望があるときは、該当部分を明確に指定したうえで本文の欄外に記載する。

5) 図・表は A4 判用紙で 1 つの図・表ごとに作成し、本文の後につづり合わせる。図・表を入れる位置は、本文中の右欄外に矢印（例：← 表 1）を記載する。図・表の大きさに希望があるときは、出来上りの大

きを併せて記載する。

- 6) 図の表題は図の下中央に、表の表題は表の上中央に記載する。図・表に関する説明は、本文中に入れない。本文が日本語の場合は、表題及び表中の用語等は日本語とする。

(2) 研究事業報告、総説、調査研究及び資料の場合

- 1) 原稿は、ワープロソフトを用い (MS Word)、所報編集委員会指定の様式(2段組・横書き、本文はMS明朝9ポイント、1行26字50行)に記載する。図表等は本文中の適切な位置に貼り付ける。

- 2) 文献は、本文の引用箇所の右肩に1)、2、3)、4-6)等の番号を記し、本文の末尾に文献として一括して引用番号順に記載する。文献の著者が3人までの場合は全員、4人以上の場合は3人目までを記載し、4人目以降は省略して「～、他」と記載する。

- 3) 雑誌名は原則として省略しない。ただし、その雑誌が用いている略名がある場合には使用してもよい。

また、欧文雑誌名はイタリック体で記す。

- 4) 文献の記載は次の例による。

①雑誌の場合

著者名：表題。雑誌名、巻数、引用ページ、発行年

- 1) 寺尾敦史、小西正光、馬場俊六、他：都市の一般住民のたばこ煙暴露状況。日本公衛誌, 45, 3-14, 1995

- 2) Browson RC, Chang JC and Davis JR: Occupation, smoking, and alcohol in the epidemiology of bladder cancer. *Am J Public Health*, 77, 1298-1300, 1987

②単行本の場合

著者名：書名。巻数、引用ページ、発行所、発行地、発行年

著者名：表題。編者名、書名。巻数、引用ページ、発行所、発行地、発行年

- 1) 市川清志: バイオサイエンスの統計学. 378-382, 南江堂, 東京, 1990

- 2) 古野純典: 5つのがんの記述疫学的特徴. 廣畑富雄 編, がんとライフスタイル, 21-43, 日本公衆衛生協会, 東京, 1992

- 3) Rothman KJ: Modern Epidemiology. 56-57, Brown and Co, Boston, 1986

③翻訳書の場合

訳者名：訳本名 (原著者名)。引用頁、訳本発行所、訳本発行地、訳本発行年

- 1) 川喜多正夫 訳: 分子生物学の基礎 (Freifeled D 著). 61-64, 東京科学同人, 東京, 1989

- 5) 脚注は、*印を用いてテキストボックスにより欄外に記載する。

6 原稿の提出・取り扱い

- (1) 原稿は、その職員が所属する担当の室長またはグル

ープリーダーの同意を得たうえで、別に定める編集委員会の事務局に提出する。ただし、室長及び室長職のない担当のグループリーダー以上の職員は、直接、編集委員会の事務局に原稿を提出する。

- (2) 提出された原稿の掲載の可否 (図・表を含めた原稿の訂正等の指示を含む。)等の取り扱いについては、編集委員会で決定する。ただし、編集委員会は必要に応じて、編集委員以外の職員に提出原稿に対する意見を求めることが出来る。

7 著作権

所報に掲載されたものの著作権は、衛生研究所に帰属する。